



まずは、単元のねらいと評価規準を設定しましょう

ねらい・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。

(知識及び技能) (1) オ

- ・人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。

(思考力、判断力、表現力等) C (1) エ

- ・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。

(思考力、判断力、表現力等) C (1) カ

- ・言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする。

(学びに向かう力、人間性等)

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。 (1) オ	・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 C (1) エ ・「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。 C (1) カ	・粘り強く、物語の全体像を具体的に想像したり表現の効果を考えたりし、学習の見通しをもって、物語に対する思いや考えを伝え合おうとしている。

つぎに、ゴールを見据えて単元を構想しましょう

単元の指導と評価の計画

(●…指導に生かす評価 ○…記録に残す評価)

時間	主な学習活動など	知	思	態
1	語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、「綾」の心情が読み取れる表現や描写に着目し、全文を読む。	●		
2	物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりするために、叙述を結び付けながら、広島に行く前の「綾」の心情について捉える。		●	
3	物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりするために、前時までに読み取った内容や叙述を結び付けながら、広島に着いてからの「綾」の心情について捉える。		●	
4	物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりするために、前時までに読み取った内容や叙述を結び付けながら、最後の場面での「綾」の心情について捉える。		●	
5	物語を読んで理解したことに基づいて、自分の思いや考えの変化をまとめるために、これまでの学習内容と振り返りを見直し、スライドを作成する。	○	○	
6	物語に対する自分の考えを広げたり、新しい着眼点を見付けたりするために、自分の思いや考えの変化について友達と伝え合う。		○	○

単元の見通し

登場人物に自分を重ね合わせながら読み、考えたことを伝え合うという言語活動を設定します。単元を通して「綾」とともに「たずねびと」を探しに広島へ行くつもりで、心情の変化を捉えていきます。その際、思考ツールを用いた交流を取り入れることで、友達の考えと比較しながら、さらに自分の読みを深めることを目指します。



ICTの活用

読みの交流にロイロノートの共同編集機能を用いることで思考の可視化につながり、常に友達の考えを目にしなが、自分の考えを見つめ直すことができます。グループで比較や交流をしたり、個→グループ→全体へ共有を図ったりすることで、児童がより積極的に対話できるようになり、広い視野で自分の読みを捉えることが深い学びにつながると考えます。

**本時のねらい** 物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。

この時間は、最後の場面の「綾」の心情を、グループごとに共有ノートを使って、フィッシュボーンにまとめていきます。それぞれが叙述から読み取ったことを、友達との交流を通して、もう一度言葉に着目して捉え直し、主人公の心情に迫っていきます。

**学 習 活 動**

- ① 前時を振り返り、本時のめあてと学習内容を確認する。

叙述をもとに、最後の場面での「綾」の心情をとらえよう。

- ・前時までにまとめたフィッシュボーンを大型テレビで確認することで、各グループの「綾」の心情に対する読みを共有し、本時のめあてにつながる。

- ② 「綾」の心情について話し合い、フィッシュボーンにまとめる。

- ③ 他のグループと比較し、気になったことを質問する。

- ・タブレット上にある他のグループのまとめを自由に見て、気になったことについて質問する。

- ④ 本時のまとめをする。

- ⑤ 本時の学習を振り返る。

- ・振り返りを共有ノートに記入する。
- ・友達の振り返りを参考にし、多様な意見に触れる。



本時の見どころはココ！

- ・第1時に個人で読み取った叙述(赤丸)を、話し合いながら中央のフィッシュボーンに整理することで、お互いの解釈を確認していきます。



「らんかんにもたれた」ってショックを受けた様子が伝わってくるね。

「もたれた」ってどんな様子かな。タブレットで調べてみるね。

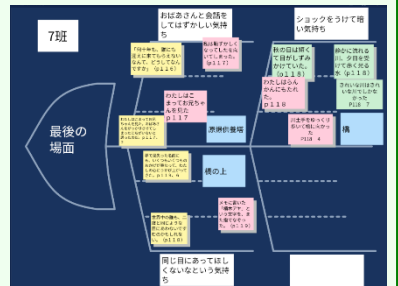


橋から見える景色も、ショックを受けた綾の暗い気持ちを表していると思う。

- ・心情を捉えるために、絵本も活用します。挿絵に注目することで、原爆投下直後の様子を具体的にイメージし、主人公の心情に迫ります。



- ・意見を交流しながらまとめたフィッシュボーンです。共通する心情ごとにタイトルをつけて整理することで、状況による主人公の心情を詳細に考えることができます。



児童の振り返り

綾は戦争のおそろしさを知った後、周りの風景や気持ちが変わってきたことについて、わたしも読んでいて同じように感じました。おばあさんが言っていたことにも少し興味をもちました。「風過ぎに、この橋をわたったときには、きれいな川はきれいな川でしかなかった。ポスターの名前が、ただの名前でしかなかったように。」という綾の心の声がとても気になります。

最後に、単元を振り返り、児童にどんな力が身に付いたか確認しましょう



三つの場面で、同じ思考ツールを用いて「綾」の心情に迫ったことで、児童は、回を重ねるごとに細かな表現にこだわって心情を読み取ることができるようになり、活発な意見交流ができたと思います。共有ノートを用いることで、自分のタブレットで常に友達の考えに触れられる環境が整い、広い視野から登場人物の様子をより具体的に想像する力が身に付き、作品を深く味わうことができました。